

県内の光化学オキシダント濃度実態調査の概要について

【はじめに】

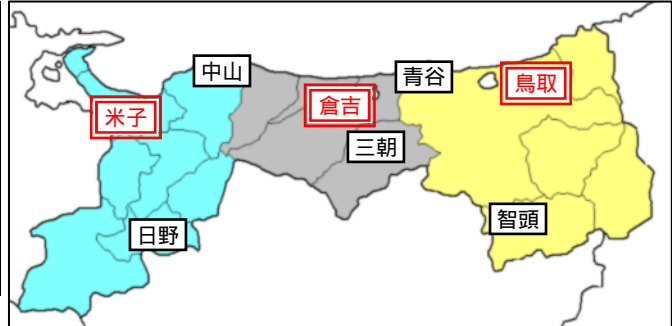
光化学オキシダント(Ox)について、常時測定局の増設及び注意報等発令区域の見直しに向けた検討資料を得るため、現在測定を行っていない山間部等における実態調査を実施した。

【調査方法】

調査期間：平成 20 年5月1日～7月 30 日
平成 21 年4月 14 日～7月 15 日

調査地点

No	調査地点	備考
1	鳥取 鳥取市江津	都市部 (常時測定局)
2	倉吉 倉吉市東巖城町	都市部 (常時測定局)
3	米子 米子市東福原	都市部 (常時測定局)
4	智頭 八頭郡智頭町智頭	山間部
5	青谷 鳥取市青谷町青谷	沿岸域
6	三朝 東伯郡三朝町山田	山間部
7	中山 西伯郡大山町塩津	沿岸域
8	日野 日野郡日野町根雨	山間部



注意報等発令区域(東部地区、中部地区、西部地区)の各常時測定局(基準局)を二重囲いで示した。

【調査結果の概要】

各地点の Ox 濃度等

No	地点	平均濃度		最高濃度		日最高濃度の平均値		80ppb 超過時間	
		H20	H21	H20	H21	H20	H21	H20	H21
1	鳥取	39 ppb	48 ppb	87 ppb	99 ppb	46 ppb	62 ppb	4 日(17H)	10 日(23H)
2	倉吉	35 ppb	45 ppb	80 ppb	92 ppb	41 ppb	58 ppb	0 日(0H)	3 日(17H)
3	米子	37 ppb	46 ppb	95 ppb	88 ppb	44 ppb	59 ppb	4 日(12H)	4 日(17H)
4	智頭	40 ppb	41 ppb	100 ppb	95 ppb	51 ppb	58 ppb	9 日(38H)	6 日(14H)
5	青谷	44 ppb	48 ppb	97 ppb	102 ppb	53 ppb	62 ppb	6 日(39H)	10 日(38H)
6	三朝	38 ppb	42 ppb	94 ppb	92 ppb	48 ppb	58 ppb	6 日(31H)	5 日(14H)
7	中山	44 ppb	46 ppb	114 ppb	90 ppb	49 ppb	57 ppb	6 日(26H)	4 日(21H)
8	日野	34 ppb	36 ppb	94 ppb	88 ppb	49 ppb	52 ppb	7 日(16H)	1 日(2H)

(備考1) 昼間(5時～20時)の測定結果を示した。

(備考2) 測定機器不調のため、鳥取・倉吉・三朝の H20 年度の一部期間は欠測とした。

(備考3) 80ppb を超過すると監視強化することとしている。なお、注意報発令基準は 120ppb

・H20～21の調査では、汚染源が少ないと考えられる山間部(智頭、日野)においてもOxが高濃度となる実態が把握された。なお、山間部の濃度上昇が都市部より大きく、山間部で都市部より高濃度となる場合もあることも確認された。

・各地点とも常時測定局と同様に4～5月が高濃度となる傾向が認められた。

汚染源が少ないと考えられる本県で春季にOx濃度が上昇する原因としては偏西風等による大陸方面からの汚染物質の移流による影響、成層圏オゾンの降下の影響を受けていることが考えられる。

【H22年度調査の方針】

光化学オキシダント濃度は気象条件に大きく左右され、同一地点でも年度による変動があることから、H22年度も引き続き調査を実施する。

3年間の調査結果を踏まえ、山間部等への常時監視測定局の増設(局数、設置場所等)及び発令区域の見直しを検討する。